

2021年度 日立みらいイノベータープログラム 立川市立第七小学校 出張授業レポート

【内容】

実施校	立川市立第七小学校
クラス詳細	1クラス 26人
出張授業実施日	1回目) 9月24日 2回目) 10月21日 3回目) 11月16日 4回目) 12月14日
企業講師所属	株式会社日立ソリューションズ・テクノロジー
実施方法	オンライン (ZOOM)

【本プログラムに参加した講師・先生の声】

企業講師の声

- 児童、先生、日立と一緒に考えて未来のイノベータを育むきっかけになる場だと思います。児童たちが親や先生以外の大人から社会に出てからも活用する考えや意見を聞ける貴重な場だと考えます。
- 普段の業務では体験することがない経験ができました
- 子どもたちへのアドバイスは想像以上に難しいですが、とてもやりがいがあります。業務では経験できない、発想や子どもたちの成長に関わることができました。

小学校の先生方の声

企業として、鋭い視点を持った講師のみなさまに、発表に足りない点をしっかりおしえていただきながら、準備ができた子供たちの発表は、いつも以上に質が高く、よい学びであったと強く感じました。オンライン実施も、十分なお支援をいただいたので、安心してのぞめ、非常に良かったです。

【出張授業 1～4回目レポート】

出張授業1回目(動機づけ)

■ 当日の様子

まず、はじめに日立ソリューションズ・テクノロジー取締役の赤平様に、日立の課題解決事例をオンラインでお話いただきました。児童達は画面を一生懸命見入って、話を聞いていました。その後、先生による「水にしずむ、沈まない食器」の実験を行いました。実験結果や仮説について、児童たちが、活発に意見交換する姿が印象的でした。



出張授業2回目(課題設定)

■ 当日の様子

児童たちは、チームごとに3つの教室にわかれ、講師は、それぞれの教室のモニターから参加しました。はじめてのオンライン授業ということで、児童たちは緊張していましたが、講師の投げかけた質問に、みんなで答えていくうちに、様々な意見や、議論に発展し、積極的に講師も交えて、チームで話し合っていました。



【出張授業 1～4回目レポート】

出張授業 3 回目(中間発表)

あるチームの発表例

理想の学校	楽しく安心して通える学校
課題	<ul style="list-style-type: none">・下校時間にばらつきがあり、一人で帰ると危ない・不審者の出没が相次いでいる
解決策	<ul style="list-style-type: none">・「サヨナラしてから、何分で帰る」など、早く帰るようなルールを作る・一人の下校をなくし、皆で帰るようにする
講師からのアドバイス	<ul style="list-style-type: none">・一人で帰る方が楽しいか？みんなで帰るのが楽しいか？をアンケートで意見を聞き、異なる意見をきちんと把握し、踏まえて「強制的に帰らすのは良くない」という考えに至ったことは、本当に素晴らしい。・今回は、安心して帰るということが、皆一緒に帰るといった案だったが、その他のアプローチもあっていいと思った。例えば、不審者が出るということだったが、どこに不審者が出るか調べて、その道避けるとか、先生に協力してもらって、先生を配置するなど、もっと広い視野で見る案もよいのではないかなと思う。

【当日の様子】

前回の講師から受けたアドバイスをもとに、1か月間中間発表のために、一生懸命準備してきた様子がかえり発表でした。オンラインで参加した講師の皆さんからは、次回の最終発表に向けて、熱のこもったアドバイスをいただきました。講師の適確なアドバイスに対して、児童だけでなく、担任の先生も思わず、「なるほど！」と声をあげておられ、最終発表までの間の児童へのアドバイスの参考になりました、とコメントいただきました。



出張授業 4 回目(最終発表)

あるチームの発表例

前回からの改善点	<ul style="list-style-type: none">・何分で教室を全員が出られるか調査し、日直が号令をかけてから、何分後までに教室を出るべきかを決めた。その結果、日直が号令をかけてから、2分以内に教室を出ないと、一人で帰る人がいて危ない！ということがわかった。そのため、2分以内に教室を出ることができると実験を行った。・その結果、無事に、2分以内に全員が教室出ることができた。・この実験後、アンケートを実施したが、みんながこの活動を続けてほしいと回答した。
講評	<ul style="list-style-type: none">・実際に時間を図って、この時間が適切であると実験したことが素晴らしいかった！実験から、根拠のある「2分」という分数を導き出したことが、企業の考え方のように、とてもよかった。また、「この2分で教室を出てください」という案は、誰も嫌がらないという点が素晴らしいと思った。・今後としては、正門まではこの活動で安心できるが、家に帰るまでが通うということなので、正門を出て以降はどうしようか？という案も考えながら、活動を続けてほしいと思う。

【当日の様子】

中間発表から、さらに調査や実験を行い、どのチームも素晴らしい発表をしてくれました。講師の皆さんも、児童たちの成長を喜んでいました。講師から、「このプログラムは、いつも皆が学んでいる国語や理科などの授業と異なり、答えが一つではありません。だからこそ、対策案も沢山あり、試行錯誤して、まずやってみて、さらに改善していくことが大切です。社会でも、同じようなことをやっています。皆さんの活躍を期待しています！」と力強いコメントをいただきました。

